

## 【貢献活動 優秀賞】株式会社グッドバンカー／三菱UFJ投信株式会社

### 【株式会社グッドバンカー】

住 所：東京都中央区京橋 1-6-13

ホームページ：http://www.goodbankers.co.jp

従業員数：13人

業 種：金融業

### 【三菱UFJ投信株式会社】

住 所：東京都千代田区丸の内 1-4-5

ホームページ：http://www.am.mufg.jp/

従業員数：360人

業 種：金融業

## ～仕事と生活の調査をテーマにしたSRI～

### 1. 取組みの概要

応募対象の「三菱UFJ SRIファンド（愛称：ファミリー・フレンドリー）」は、「仕事と生活の調和」をテーマとして国内株式に投資するSRI（社会的責任投資）ファンドである。少子高齢化など社会の変化とその影響を考慮する投資家と企業をサポートし、ワーク・ライフ・バランス社会のベース作りに着目しながら資産形成を行うわが国初の金融商品として、2004年12月より運用を開始している。

当ファンドは、組入れ銘柄の選定基準に財務的な観点だけでなく、「仕事と生活を両立でき、多様で柔軟な働き方を選択できるのか」という評価も導入し、様々な社会的課題の背後にある「働き方」の側面の改革にアプローチをしていくものである。企業のワーク・ライフ・バランス対応能力が金融市場で評価され、企業の働き方の見直し等の行動を促進させ、多様性の活力を創出する経営を支援し、企業の変革が、人口減少や次世代育成などの課題に向き合う社会全体の構造改革へと波及していくことを想定している。

あらゆる産業とつながる金融機能にワーク・ライフ・バランスのデザインを導入し、市場メカニズムを働かせることで、産業全体でのワーク・ライフ・バランス推進という新しいコンセンサスを浸透させ、効率的・効果的な活動推進に寄与できるものと考えている。

### 2. ワーク・ライフ・バランス推進に取組んだ経緯、理由

急速な少子高齢化・人口減少の時代を迎えた日本では、次世代への責任を視野に入れた選択や、新たな創造力の発揮において、あらゆる側面から、より多くの人々に参画してもらうかたちが必要とされている。金融商品が「どんな社会を目指すのか」という社会のビジョンを掲げ提示することは、各個人が、社会的な課題に対し、自身の感性で、自身の問題として、市場メカニズムを通して明確にコミットしていくことの意義を実感してもらう機会となる。また、政策や企業サイドだけでなく、個人を含めた投資家の意思、意識、利害をコミットさせ、マーケットアプローチによる取組み手法を提供し、金融市場を人々が共有する社会的課題の解決のために働かせることは、金融業の責務でもあると考えている。

特に、様々な社会的課題の中でもワーク・ライフ・バランスは、企業行動の変革が大きなインパクトを持ち、各個人ひいては社会へ及ぼす影響度も大きいテーマであることから、ワ

ワーク・ライフ・バランスのコンセプトを株式投資に反映させた金融商品の市場投入は、課題解決へのアプローチとしても有効に機能すると考え、商品開発に取り組んだ。

### 3. 取組みによる具体的効果

当ファンドの設定により、ワーク・ライフ・バランス推進において、従業員や消費者とも異なる、投資家という新しいステークホルダーが出現した。実際に、当ファンドのコンセプトに関心を持つ新しい投資家層が市場に参入しており、既存の投資家についてもワーク・ライフ・バランスの観点による新しい企業評価手法が認識され、ファンドの純資産額も成長しつつある。

また、各企業のワーク・ライフ・バランスの取組みが評価され、その評価を投資行動にリンクさせたことで、企業は課題に向き合い、新しい価値を創出できるサイドに立てる環境が創出された。さらに、当ファンドでは、各企業の取組みの長期的な企業価値への貢献も評価対象とし、企業との対話を通して、継続的に、より戦略的に課題に取り組む企業も増加しつつあることを実感している。

ワーク・ライフ・バランスへの取組みが、企業・投資家双方のフィナンシャル的側面における成果につながる可能性も考えられ、今後も引き続き、ワーク・ライフ・バランスのポジティブな資本循環の形成を注視していく。